



## はっぴょうかい たのしかったね

ひまわり組は『やまなしもぎ』の絵本で表現遊びをしました。初めて読んだ時に「面白い！」と子ども達から聞こえてきた絵本で、それから何度も読む内に大好きになった一冊です。表現遊びをする中で一番盛り上がるシーンは、やはり三郎と沼の主が戦うところです。最後の山場ですので、練習中は「まだ戦うところせんのか?」「早くそこのページやりたいなあ」と心待ちにする子もいました。いざ、そのシーンをやってみると子ども達は生き生きと楽しそうに表現してくれました。その表現方法も「沼の主の手は爪があるから…こうする?」「剣を引き抜く前はこんな風にすればかっこいいんじゃないかな?」と友達同士で意見を出し合いながら作り上げました。また、『沼の主の溶けていくところ』や『やまなしの木の時は手や足をどうするか』も子ども達からの意見を取り入れています。他のクラスの表現遊びを見た時に、「歌とか手とか揃ってて綺麗やった」「みんなが歌っていてすごかった!」とかっこよく見える表現方法に自分で気付いた子ども達。エレクトーンの音をよく聴いて鳥を表現したり、全員で音と動きが揃うようにたくさん練習しました。

エレクトーンの音を聴くこと、周りの音を聴くことはピアノの練習でも学ぶことが出来ました。吹いている内にだんだん速くなってしまふことが多く、はじめはみんなと合わせることが難しかったのですが、毎日練習を重ねるごとにだんだんと揃うようになりました。当日は、歌もピアノも全員の揃った声や音を聴いていただくことが出来て私も嬉しく思いました。たくさんのお客さんの前で緊張した顔の子ども達でしたが、それでも今まで練習してきたことを力にクラスみんなと発表会を楽しんでいました。お部屋に帰ってきた時のやり切った笑顔がとても輝いており達成感で満ち溢れていました。

これからも、大好きなやまなしもぎでたくさん遊び、他のクラスとの見せ合いっこを楽しみたいと思います。

ピアノ 「かっこう」  
「こいぬのマーチ」  
日本語の歌 「こころのねっこ」  
英語の歌 「Frosty The Snowman」  
表現遊び 「やまなしもぎ」



